

“白鷹町産つや姫の新米105^キ（1174食分）” を寄贈いただきました

11月22日、各小中学校の学校給食の時間に、地元で収穫された新米のつや姫をいただきました。

これは、子どもたちに、丹精込めて作った出来たてのつや姫を味わってもらいたいというJ A山形おきたま農政対策白鷹本部様、白鷹地区稲作関係各団体様のご厚意によるものです。地元産のお米を通じて、食と農の大切さをかみしめながら、おいしくいただきます。この日の献立は「つや

姫の新米」の味や風味が活きるように、なた割大根の炒め煮、磯香和え、じゃが芋のみそ汁、牛乳が並び、ご飯との相性は抜群。白鷹町産の食材が豊富に使われている献立の中、おいしそ

うに輝く「つや姫の新米」を食べた児童たちは「ご飯がもちもちしてとてもおいしかった」「これからもおい食を残さず食べたい」と笑顔で話しました。
ご厚情、ありがとうございました。



おいしい新米を口いっぱいほおぼった児童たち



感謝状を手にする芳賀さん

長年の人権擁護活動に対し 感謝状を贈呈

9月30日付で人権擁護委員を退任された芳賀健治郎さん（鮎貝）に、法務大臣と町から感謝状が贈られました。

芳賀さんは総務大臣から委嘱され、平成22年10月から6年間にわたり、町の人権擁護委員として町民の人権意識や人権擁護の精神の普及高揚にご尽力されました。

安心・安全な共同生活を 新グループホームが完成

11月1日、障がい者の地域生活を支援することなどを目的に建設された「グループホームこぶし」の開所式がこぶしの家で行われました。

施設は木造の平屋建てで、延べ床面積は約240平方メートル。個室は予備室を含めて7室を備え、障がいの重い方も利用できるよう、

バリアフリーに配慮した設備・建物となっています。こぶしの家の利用者で、

今まで長井市のグループホームを利用していた万年山茂樹さんは「ずっと白鷹町で生活したいと思っていました。これから一緒に生活していく人たちと仲良くしていきたい」とうれしそうに話しました。



1_開所式には、利用者や保護者、町関係者など約90人が出席した
2_町ソフト小村内の町有地に建設された「グループホームこぶし」